



# 自分のよさを磨くために

学校長 村越 新

5月10日（水）に講話朝会を実施しました。

1，4，6年生の3学年を体育館に集めて校長から話をしました。2，3，5年生は教室にて担任から校長講話を伝達しました。

3学年といっても、教職員を含めると400人近くが集まりましたので、換気、間隔、声を出さない等の感染対策は施しました。

講話の内容は以下の通りです。



皆さんは、学校に何をしに来ているのでしょうか。(数人が発表してくれました)  
一言で言うと、**自分を磨き**に来ているのです。「磨く」とは、「きれいにする」「強くする」「よりよくする」という意味です。**学校は、皆さんの「良さを磨く」所**です。

皆さんが良さを磨くために、お願いが2つあります。

1つ目は、**しっかり聴く**ということです。「しっかり聴く」には、2つの意味があります。1つは、先生や友達の話を**黙って最後まで聞く**ということ。これは、学校の勉強のルールであり、友達と勉強する上での最低限のマナーです。そして「聴く」ことのもう一つの意味は、一人で考えても、調べても分からない時にどうするかということです。分からないままにしていたら、良さは磨けません。その時は、友達に聞いてください。**分からないことがあったら友達に聞く**。これは良さを磨く最高の勉強法です。良さを磨くためのお願いの1つ目は、しっかり聴くということです。

2つ目のお願いです。それは、皆さんの良さを教えてほしいのです。用紙を配りますから、書いて先生に出してください。皆さんの良さを先生たちも応援します。

5月、張り切って、負けずに、肩組んで勉強して、皆さんの良さを磨いて下さい。

クラスの友達や担任とも心が通い始めている5月。話をしっかり聞いて、友達と学び合って、自分のよさを磨いてもらいたいものです。

# 委員長会議2

第一回目の委員長会議で「49年目の扇小をどんな学校にしたいか」を話し合いました。時間内に終わらなかったことから、再度集まって話し合いが行われました。

そこで決まった今年度の目指す学校像は、「**思いやりのある学校**にしよう」です。各委員会では、これを実現するための活動が行われていくものと期待しています。



## 避難訓練

5月11日朝、千葉県で**大きな地震**がありました。今年度になってから大きな地震が続いています。その日は急遽、チャレンジタイムの時間を使って、臨時の**避難訓練**を実施することにしました。

目的は教室から避難場所までの**経路を確認**することです。経路に物が置いてあったり、2つある階段のどちらを使うのかを迷ったりする場面がありましたので、実施して本当に良かったと思いました。



## 扇小学校は？

教育センターの職員が本校の様子を見に来校されました。その前の週には、新しい清掃員さんがあいさつに訪れました。

そんな時、近くにいる子供たちに**自己紹介**をしてもらうことにしています。「クラス、名前、**扇小の自慢**」を言ってもらいます。「扇小の自慢」で圧倒的に多いワード「思いやり」と「**優しい**」です。

「みんな優しい」

「思いやりのある子が多い」

「先生もみんな優しい」

「優しい子が多くて楽しい」

「優しくて思いやりのある子ばかりの学校」

などなど

自慢できること学校で学べる子、子供が自慢している学校で勤められる教職員は幸せだと思います。

